

<p>分野の状況</p>	<p>製造業は名目 GDP、全就業者の約 25% を占め貿易立国日本の基幹産業。企業活動としての海外立地が進展し製造・研究開発の空洞化が懸念。優位だった日本の製造技術の競争力は低下傾向。情報通信・医療福祉等の分野で製造技術への要請が高揚。環境負荷最小化への期待も大。</p>
<p>重点化の考え方</p>	<p>3 視点について、戦略課題を重点的に推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存製造技術の高度化による競争力強化</li> <li>・ 製造技術の新たな領域開拓</li> <li>・ 環境負荷最小化技術</li> </ul>
<p>重点となるべき領域項目</p>	<p>既存製造技術の高度化による競争力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たなブレークスル-による製造プロセス革新技術 省力、省エネ、省資源、低コスト化技術</li> <li>・ 品質管理・メンテナンス向上技術 IT 高度利用 等</li> <li>・ 製造現場安全技術 IoT 応用 等</li> </ul> <p>製造技術の新たな領域開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高付加価値製品技術 マイクロマシン、オプトエレクトロニクス、ナノテクノロジー-応用製造技術 等</li> <li>・ 新規需要対応 情報通信、医療・福祉機器 等</li> </ul> <p>環境負荷最小化技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 循環型社会形成生産システム リサイクル工程重視型</li> <li>・ 有害物質極小化技術 ダイオキシン、オゾン層破壊物質極小化</li> <li>・ 地球温暖化対策技術 炭酸ガス削減、未利用エネルギー-有効利用</li> </ul>
<p>備考</p>	<p>製造技術の原点を理解し革新能力のある人材育成 研究初期段階からの産学官の連携、役割分担 産学官連携時等の知的財産権に関する戦略 ベンチャービジネス化等、新製品市場参入支援策 イノベーションを効果的に経済成長に繋げる政策検討</p>